



Wall & Floor Tiling タイル張り



古代からの技能でデザインを美しく浮かび上がらせる

タイル張りの歴史はとても古く、古代エジプトのピラミッドの内部にもタイルが張られていました。日本においても美しさや耐久性に優れた建材として広まり、建物の外装や内装、床材として多くの場所に使われている私たちの生活になくてはならない技術です。競技では、壁と床を想定したスペースに課題のデザインをタイル張りで表現します。入念な準備に加えてその場で作業を決める対応力が必要とされる競技です。

競技について 競技時間：2日／9時間30分

競技課題にはタイル張りに必要な要素が幅広く取り入れられています。タイル張りを開始する前に、タイルの張り方の検討と使用するタイルの加工を行う前準備に加えて、タイル張り後に、タイルとタイルの間を目地材できれいに埋めていく作業や、仕上げの美しさを出すための後処理といった、タイル張り作業だけでなくその前後の工程の技術も高く求められます。

競技職種と生活との関わり

タイルは、外装材や内装材、床材として広く利用されています。タイルがびっしり張られた壁や床は、お風呂場やトイレ、洗面所などでおなじみの光景です。建物や床に張られているタイルは、建築物を美しく見せる耐久性に優れた建材で、ビルやマンションなどの床や壁などに一枚一枚丁寧に張り付けられています。タイル張りの仕事は建物の建設がある限り無くなることはなく、今後の需要は時代に左右されず、変わらずに続くと思われています。

前回大会金メダリストからメッセージ！

練習は、やったらやった分そのまま結果につながると思うので、頑張ってください！



山本 優太さん
正和高事(株)



くし目ぞて

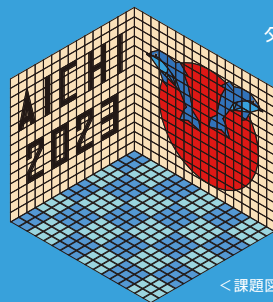
モザイク切り



2022年大会
競技課題



2023年大会
競技課題



タイルカッター



<課題図>

進歩を続ける最新の技術に 対応する知識力と未来に 目を向ける意識が求められる

歴史の深いタイル張りですが、現在では技術の発展により今まで無かった大型のタイルや豊富な色彩のタイルが生まれています。また、抗菌性や湿度を調整できるタイルなど機能面でも新たなタイルも誕生しました。施工方法も、従来の方法に加えてセメントを使わない「乾式工法」が開発されるなど進化を続けるタイル業界。多様なタイルと施工技術に対応できる探求心や知識の幅広さが競技の結果に結びつきます。

鈴木 久夫主査

一般社団法人日本タイル煉瓦工事工業会

